



一般社団法人低血糖症治療の会を名称変更して、一般社団法人障害治療研修所になり、下部組織として「低血糖症治療の会」と「発達障害治療の会」を持つことになりました。開業以来、機能性低血糖症の治療を進めてきて、治療法も確立し、会員も定着して、その啓発に役立ってきました。

発達障害については、一般の医療機関や政府の指針では、治療できるものとしては認識されず、支援や療育が必要なものとされています。幾つもの原因と治療の複雑性もあり、単一の原因治療を行う医療機関はありませんが、それらを複合して発達障害治療を行う医療機関はマリヤ・クリニックだけであると思われれます。

機能性低血糖症治療では、15年間は他の医療機関や医師から批判攻撃されてきました。「精神症状を治す」ということはありえないので、そのようなことを言う医師はおかしい。」というもので、ひどいものも多くありました。むろん、現在ではよく理解され、大病院などからの患者紹介も多くなってきました。発達障害の治療を始めて、同じようなことが起こってもいいです。

発達障害のお子さんを抱えた家族は、非常に困難な状況であることが多く、私たちは患者同士の交流や治療に関する研修、そして治療の有効性と保険適用の認定に向けて、患者の会を設けることが必要であると判断しました。6月に初めての研修会を持ち、多くの感謝の声を聞いています。

患者さんの祖母からお手紙をいただきました。発達遅滞と診断されていたお孫さんは、3年間の治療を経て、小学校の普通学級に入學し、読み書きも運動も遅れなく、元気な生活を送っているそうです。息子さんの一人は発達障害者で、「息子は障害者年金や手当、福祉の世話になつていますが、孫は税金を払える大人に成長するでしょう。」と力強いお言葉でした。お孫さんのように治療できる人が増えれば、「多くの家族の一生に亘る長い障害者介護の負担がどれだけ減ることでしょうか。」とも訴えられ、障害治療研修所の活動を喜んでくださいました。また、別の患者さんで息子さんが改善した医師が、発達障害の治療の為に開業を予定されています。

現在の法人活動は、低血糖症で改善した方々の献身的な奉仕で運営されています。発達障害の患者さんご家族が加わって、同じような交わりと活動が進められたらと願っています。何事も順調に行くものはありませんが、少しずつ進展させていきたいと思えます。悔いのない人生を送れば、それで良いでしょう。

事務長 柏崎久雄

* 院長が院外出張のため、7月14日(火)の午後の診療は15時からとなりません。

* 公費の小児のワクチン接種時の付き添いに、父母ではなく、祖父母や叔父叔母等が付き添われる場合には、市指定の委任状に保護者(父母)直筆の記入が必要となっています。ご注意ください。

* 栄養指導や個人的ご相談、セカンド・オピニオンなど、内容をお伝えの上、予約をお願いします。

* 病児保育のご利用には、前もって登録をしておいてください。詳細はホームページや配布資料をご覧ください。

* 機能性低血糖症の研修会が、7月11日(土)14時より16時まで3階研修室であります。講師は柏崎モント事務局長で受講料1000円(患者)、定員6名です。申し込みは受付まで。

* (株)ヨーゼフでは8月5日(水)まで『ヌクレオBコンプレックス』『イノシトール・B3』『スーパーイーストナイアシン』『スーパーイーストB12・葉酸』のキャンペーン販売を行います。詳細は店舗で確認ください。

* 7月2日(木)10時〜12時に千葉福音キリスト教会婦人会主催の寺田節子親業シニアインストラクターを講師にした「コミュニケーションで築くホッポの交流」がマリヤ・クリニック1階待合室で、無料であります。

感染症又は感染症疑いの方は、入口、診察室、会計の流れが異なります。

風邪、水ぼうそう、おたふくかぜ、インフルエンザ、はしか、風疹等の感染症の方、又はその疑いの方は、来院時は正面入口横の中央通路わきのインターホンで受付までご連絡下さい。問診票を廊下でお渡ししますので、2階第2診察室待合室にてご記入下さい。診察後のお会計は、処方内容が確定してから、1階に降りて下さい。トイレ後のハンドソープによる手洗いの実施にご協力下さい。

聖書を読む会

7月14日(火)午後2時〜2時20分
当院待合室にて行います。
どなたでも参加できます。

<心身の異常の原因と対応Ⅱ>

現在国立成育医療研究センター研究部が発表し、明らかとなっている自閉症の環境要因としては、妊娠初期の喫煙、水銀、有機リン酸系農薬、ビタミンなどの栄養素不足、親の高齢、妊娠週数、出産時の状況（帝王切開など）、夏の妊娠、生殖補助医療による妊娠が考えられています。また、関連がないと考えられている環境要因としては妊娠中のアルコール摂取、PCB、鉛、多環芳香族、社会経済的地位、ワクチン、低出生体重とされています。但し、ワクチンについては、エチル水銀でできているチメロサルを殺菌剤として含んでいるものもありますが、アメリカではワクチンにエチル水銀を用いることは禁じられています。PCBや鉛についても、被験者の数が少なく、害がないと断定はできないと思われ、その調査自体でもサンプル数の少なさは認めています。その報告の中で参考になるものを引用します。

栄養の不足も自閉症に大きな役割を果たしうる。血液中、毛髪中、もしくは他の組織中のマグネシウム、亜鉛、セレン、ビタミンA、ビタミンB群、ビタミンD、ビタミンE、オメガ-3脂肪酸、カルニチンなどを含む栄養素が自閉症児では明らかに低値であることが、しばしば見られる。861人の自閉症児と123人の対照群児童を対象とした研究では、ドコサヘキサエン酸(DHA)とアラキドン酸の加えられていない育児用粉乳を与えられた子どもは、母乳栄養児よりも自閉症スペクトラム障害を発症させる率が4.41倍であった。いくつかの研究では、栄養的介入によって自閉症とADHDもしくは自閉症かADHAの患者に改善傾向がみられると報告している。20人の自閉症児を対象にした二重盲検試験によると、包括的な(broad-based)マルチビタミンとミネラルサプリメントの摂取は睡眠と消化器症状の改善に著しく有益で、行動や受容言語(receptivelanguage)の改善にもあまり顕著ではなかったが有益であったと報告している。またほかの二重盲検試験によると、自閉児にL-カルノシン(L-carnosine)を投与すると、ジリアム自閉症評価尺度(Gilliam Autism Scale)に顕著な改善が見られたと報告している。またほかにも、ビタミンB6、葉酸、オメガ-3脂肪酸、ビタミンCなどを自閉症児に投与すると、何らかの改善が見られたと報告する研究もある。マグネシウムとビタミンB6の経口補給により、自閉症スペクトラムのある子供の社会的交流、コミュニケーション、知的機能が著しく改善されたとの報告もある。また、症例報告によると、肝油、カルニチン、コエンザイムQ10のような様々な栄養素は個々の自閉症患者に役立つようであることが報告されている。

『自閉症の環境要因』(独)国立成育医療センター研究所 成育社会医学研究部、2010

このように、栄養不足の乳幼児が非常に多く、発達障害児でさえ、栄養補給により容態が改善するので、保護者は子供たちに十分な栄養を与えるように注意する必要があります。

D. 幼児期に注意すべきこと（前月からの続きです）

1. 有害なものを摂取しない。

① 食品添加物

これまでマリヤ・クリニックニュースで指摘してきましたのは、「身体にとって害となるもの」(2014.10.)では、①身体をいたわらない考え方や生活習慣、②人格と身体に攻撃を及ぼす組織や社会理念、③ブドウ糖と酸素の不足、④食品添加物と残留農薬、⑤薬・化粧品・放射能でした。

「食品に含まれる有害物」(2015.1.)では、更に詳しく食品添加物については説明しました。もう一度ご覧になって、毎日買われる食品を点検してみてください。ハム、ソーセージ、チーズ、パン、練り製品など、かなり怖い物が含まれています。最近、亜硝酸ナトリウムの含まれていないソーセージを見つけました。イーストフード・マーガリン・ショートニングの含まれていないパンも販売されています。

② 有害ミネラル

「有害ミネラルの体内蓄積」(2012.1.)には、ヒ素・水銀・カドミウム・鉛・放射性物質の害を説明しています。マグロやカツオには水銀が多く含まれていることも報告しました。厚労省では、妊婦はこのような魚を1週間に80g以上は食べないように指導していますが、私どもの検査でも水銀の値の高かった人は、マグロやカツオが大好きでした。蓄積したものが胎児に移ることもありうるので、十分注意してください。鉛管による水道設置は現在は全面禁止されていますが、現実には多くの地域で未だ鉛管です。古い家やアパート・マンションは鉛管のままで配管されているところもあり、チェックが必要です。古代ローマの滅亡は、鉛管が原因であるという説もありますが、当時は水道が流しっぱなしだったので、今より安全かもしれません。

水銀には有機水銀と無機水銀があり、有機水銀の化合物にはメチル水銀、エチル水銀、フェニル水銀があります。メチル水銀は環境内の微生物及び腸管内の微生物によって無機水銀から生成されるもので

あり、毒性が強いといわれています（3滴で致命的）。食品中のメチル水銀は消化管から95～100%吸収され、血液によって脳へ移行しやすく、運動失調、感覚異常、知覚障害などの中枢神経障害を引き起こします。また、体内の依存期間が長く44～80日です。それに対してエチル水銀は毒性が比較的安く、身体に影響が起こったとしても局所の発赤や腫脹などの皮膚過敏症くらいで、依存期間も1週間と短く、メチル水銀の6～10倍の速度で体外に排出されるといわれています。エチル水銀は毒性が低いとされるので、抗菌作用が高いことから防腐剤としてワクチンなどにも使用されていますが、前述のように禁止処置を取った国もあります。柿谷正期先生の書籍では、血中濃度と脳内の水銀量は確かにエチル水銀の方が速く低下しますが、脳や腎臓内の無機水銀は増えるという研究結果が報告されています。さらにエチル水銀はいったん脳に入ると無機水銀に変わることから、脳関門から排出されないという報告もあります。エチル水銀が添加されているワクチンも安全と謳われていますが、結局未だ結論は出ておらず、今後の更なる研究が待たれています。水銀中毒の症状と、自閉症の症状は類似しているということが広く指摘されています。マリヤ・クリニックでは、チメロフリーのワクチンを使用するようにしています。

③ 放射性物質

「放射線被ばく対策」(2011.4.)、「放射能に対する対策の必要性」(2011.5.)、「放射能被ばくから身体を守る為に」(2011.09.)、「放射能障害に関する新しい情報と本の出版の意図」(2012.10.)、「内部被ばくの危険性」(2012.6.)をご覧ください。全てクリニックのホームページでご覧になれます。

現在、あまりニュースにされていませんが、福島県では昆虫の奇形が多く見つかっています。チェルノブイリでは、奇形の昆虫や動物が見つかり、人間にも現れ、そしてガンによる死亡率が高まったことは事実です。マリヤ・クリニックでは、放射能事故後すぐに、現地にヨウ化カリウムを送りましたが、殆どの人は受け取ろうとせず、私達を非難しました。それでもなお、放射能除去に有効なグルタチオンなどのサプリメントを無償贈与しようとしたのですが、それを受け取った人はあまりいませんでした。そして、更に『神のデザインによる医療』(2011.11.)を出版し、放射能対策の方法を提供しました。この本は、当初『放射線障害の対策と治療』という書名で準備していたのですが、そのような活動に対する非難が大きいので変更したものです。私どもは、現在でも海に漏れている汚染水や汚染した環境があるにも関わらず、関心が薄くなり、そして予防の意識が薄くなっていることが気がかりです。病気というものは、発病してからでは改善は難しくなっていくものなのです。

レントゲンやCTなどの放射能による測定機も実際には身体に負担のあるものですから、検査後にはビタミンCやEなどの抗酸化作用のあるサプリメントを十分に摂取することが大事であると思います。

④ 薬剤

昔から「毒を持って毒を制す。」という諺があるように、実は多くの医薬品には対症的な効果があるけれど、身体全体にはある程度の害があるものが多いのです。特に、抗生物質は画期的な効果があり、これによって感染症などに対する医療の力は大きくなりました。けれども、その分、身体には負担になり、高齢者や子供そして身体の弱い人は、継続的な摂取は勧められないものです。

ところが、最近では乳幼児に中耳炎が増え、長期に亘る抗生物質の摂取が指導されています。調査によると、中耳炎に対する抗生物質投与が発達障害の症状の発現に関わったという報告もされており、原因は抗生物質の長期摂取ではないかとされています。大人ならば、摂取すると体調が悪くなると伝えて調整されるのに、乳幼児や認知症の高齢者などでは、その確認がなく強制的に摂取がなされてしまう場合もあり、注意が必要です。

ワクチンなども、投与前後の子供たちの体調を注意深く見守ることが大事です。ワクチンは、そもそも毒性を弱めた弱い病原体を人間に簡易感染させることで抗体を作りだし、その病原体に掛かりにくくするものであり、乳幼児には負担が掛かるもので副作用などもありえます。また、同時接種により、ワクチンに含まれている防腐剤のチメロサル(有機水銀)の体内への取り入れも多くなり、簡易感染による身体への負担と合わせ、危険性があり得ます。他の医療機関で同時に4つも5つもワクチンを同時接種し、熱を出して来院されたお子さんがありました。当院では、「生ワクチン(チメロフリー)は1種類まで。不活化ワクチン(チメロフリー)との組み合わせで2種類まで。」と制限をしています。接種をする医療機関としても大変なのですが、また保護者もお忙しいとは思いますが、丁寧な対応や子育てにより防げる、その後の大きな負担もあり得ると思ひ、そのようにしています。

2. 有用なものを充分摂取する。

① 成長には5大栄養素が必要ですが、特に、タンパク質、鉄、カルシウム、ビタミンB群などが必要です。

よく噛んでゆっくりと食べるということは、何度も言いますが、非常に大事なことです。一人だけで子供を食べてはいけません。テレビを付けながら食事をする習慣は、子供を不健康にします。柔らかくて飲み込むようなものを与えては、顎が発達せず、偏食を招きます。聖書には、「堅い食物はおとなの物であって、経験によって良

い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。」(ヘブル5:14)とあります。固い物をゆっくり噛むと、味わって食べることができ、粗悪な食材も見分けることができるようになりますと共に、そのような習慣が善悪の区別にも有効なことを指摘しています。消化が良いからといって柔らかいものを食べさせるのは、歯が生えるまでであって、親と共に良く噛む習慣を身に付けさせましょう。

院長も幼児期に下痢を繰り返して虚弱であり、毛髪も十分に生えないような健康状態だったそうですが、ある医師が「下痢をしようとなんであろうと、子供は食べなければ育たないから、とにかく食物を与えなさい。」と指導し、健康になってきたと言っています。幼児期の栄養状態は、脳の形成にも関わり、身体の骨格を形成し、その後の成長の基盤となるので、非常に大事なものです。香辛料は、子供には不向きです。親が辛いものが好きだからといって、同じようなものを食べさせてはいけません。味蕾を損傷し、味覚異常になってしまうこともあり得ます。また、甘い物は身体を弱くします。乳幼児期に甘い物を食べさせないと、子供の味覚は正常に育ち、甘い物を食べたがりません。偏食は、親が作りだしているということもあるのです。

発達障害の子供たちは殆ど偏食があります。これによりアレルギーが起こり、アルコール中毒のような依存症状が起こっていることも考えられます。子供たちが極端に特定の食物を求める場合には注意が必要です。それは、大人にも言えることで、不健康になると不健康な食物を食べたがります。ラーメンや揚げ物を食べたがるということも、極端になると病気の初期症状かもしれません。

② 発酵食品を摂る。

納豆や漬物や発酵した食品は、腸内環境の善玉菌の形成に役立ちます。欧米由来の乳酸菌がもてはやされていますが、実は腸内フローラ(腸内の細菌状態)は、その人の育った環境ごとに違うものが定着・形成されやすいようです。日本人の腸は、欧米人とは長さも違い、食習慣も異なります。最近、腸内環境の悪化が叫ばれていますが、漬物は実際に発酵して造られたものではなく、味付けされただけのものが多く出回っています。また、腸内環境を整える繊維食品を摂ることも、子供の場合にはあまりなくなっています。

私たちは5人の子供を育てましたが、おむつ替えの時にウンチの状態を調べたものです。その後も、きちんとウンチが出ているかどうかは確認してきました。規則正しい排便と、便の状態は健康のバロメーターです。

③ 清涼飲料水は飲ませない。

清涼飲料水に多くの糖分が含まれていることは指摘してきました。逆に、糖分がないからといってウーロン茶を飲ませる親もありますが、ウーロン茶にも、緑茶にも、紅茶にも、ほうじ茶にも、番茶にも、同量のカフェインが含まれているのです(麦茶には含まれていません)。子供たちが、それらを常用し、眠れなくなっていることに気が付かないでいることは多いのです。ココアにも大量のカフェインが含まれています。子供には、水を飲むということが一番良いのです。

④ 頻回で食べさせる

子供たちは胃腸が小さいので、多量に食べることはできませんが、筋肉や脂肪も少ないためにエネルギー源の蓄えも十分ではありません。また、成長には大人以上の栄養が必要です。10時と3時だけでなく、質の良いおやつをいつでも食べただけ食べさせるくらいの配慮は必要です。嗜好品を食べすぎることは良くありませんが、必要な栄養を補給したがる子供たちの身体の欲求を満たすことは非常に重要です。

⑤ 十分な睡眠をさせる。

昼寝は子供たちには大事です。夜も早めに寝ることが必要です。テレビなどを遅くまで見させると興奮して眠れなくなります。お風呂も、早いうちに済ませ、就寝時に身体が熱くなりすぎないように注意してください。子供が眠れない場合には、十分その原因を調べる必要があります。

《 診 療 時 間 》

月曜～金曜 (午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時 30 分～5 時 30 分)

土曜 (午前 8 時 30 分～12 時 10 分、午後 2 時～4 時)

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養療法(分子整合医学)



(携帯サイトへ)